

事後評価書（期中の評価）

都道府県名	広島県	関係市町村	福山市	期中評価実施の理由	④
事業名	水産資源環境整備事業（水産生産基盤整備事業）				
地区名	ハシジマ 走島	事業主体	広島県		

I 基本事項

1. 地区概要				
	漁港名（種別）	走漁港（第2種）	漁場名	
	陸揚金額	760 百万円	陸揚量	1,331 トン
	登録漁船隻数	372 隻	利用漁船隻数	386 隻
	主な漁業種類	ぱっち網・小型定置網・のり養殖	主な魚種	かたくちいわし・しらす・のり
	漁業経営体数	— 経営体	組合員数	341 人
	地区の特徴	走島は福山市の沖合約6.0kmに位置する面積2.11km ² 、周囲7.8kmの離島で、概ね急傾斜地になっている。住民の多くが漁業に従事しており、漁船数も多く、漁業が盛んである。		
2. 事業概要				
	事業目的	港内の静穏度の向上、浮桟橋や物揚場など不足する係留施設の整備を図るとともに、当該漁港の主要産業であるちりめん・のりの加工場を移転・集約させることで、作業効率化・生産品の付加価値増大を図るとともに、地域住民の生活環境の改善を図る。		
	主要工事計画	西北防波堤L=340m、西物揚場L=247m、西用地A=35,000m ² 、漁場施設（魚礁）V=1,444.8空m ³ ほか		
	事業費	4,815百万円	事業期間	平成14年度～平成34年度
	既投資事業費	4,117百万円	事業進捗率(%)	87%

Ⅱ 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化			
	直前の評価	今回の評価	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり
総費用（千円）	5,630,320	8,528,971	
総便益（千円）	8,825,620	9,401,470	
費用便益比(B/C)	1.57	1.10	
総費用の変更の理由			
①就業環境の向上・生産コストの削減を目的として、浦友地区に防波堤、浮棧橋整備を追加（費用増） ②水産資源の維持・培養を目的として、漁港の沖合へ魚礁設置（費用増） ③残事業の防波堤構造と係留施設利用計画の見直しにより、防波堤延長の削減（費用減） ④平成23年度までの投資額を実績金額に修正し、平成31年度以降の事業計画を見直し（費用減）			
便益算定項目について変更がある場合はその項目と変更の理由			
①浦友地区における防波堤、浮棧橋の整備に伴い、「静穏度の向上に伴う漁船耐用年数の延長効果」、「防波堤整備による出漁日数の増加効果」、「防波堤整備による出漁日数の増加効果」等に関する便益項目を追加した。 ②加工用地への陸上養殖加工業（のり）の進出意向を受け、「陸上養殖業（のり）の新規進出に伴う生産量の増加効果」やこれに伴う「新たな雇用の創出効果」等に関する便益項目を追加した。			
その他費用対効果分析に係る要因の変化			
事業実施内容の見直しにより、完了年度を平成21年度から平成34年度へ変更			
2. 漁業情勢、社会経済情勢の変化			
(1) 漁業情勢及び漁港施設、漁場施設等の利用状況と将来見通し			
計画策定後の漁業集落に関わる社会経済状況、自然状況の当初想定との相違と将来見通し			
計画策定以降、集落人口は減少し、高齢化・過疎化及び後継者不足が問題となっている。			
漁業形態、流通形態について当初想定との相違と将来見通し			
しらす（かたくちいわし）やのりの加工設備の老朽化による生産品の品質低下、生産効率の低下が大きな課題となっている。しかし、今後、本事業により創出された加工場用地の活用とそれに合わせた新規設備の導入が計画されており、しらす（かたくちいわし）、のり加工における生産コストの削減や陸上養殖業（のり）の新規進出に伴う生産量の増加等が期待されている。			
漁港施設等の利用状況について当初想定との相違と将来見通し			
当該地域では主にぱっち網・小型定置網・のり養殖などが営まれているが、平成14年の計画策定以降、漁獲量・陸揚金額などが減少傾向にあり、登録漁船数や利用漁船数なども微減傾向にある。 しかしながら、本事業の推進により、漁港機能の強化や漁港施設用地の活用、魚礁施設による蛸集効果などが期待され、引き続き安定した漁業経営の継続が見込まれる。			
(2) その他社会情勢の変化			
近年の台風・低気圧災害の頻発化により、港内の静穏度が悪化しており、漁港施設の利用や漁船の係留への影響が増大している。			
3. 事業の進捗状況			
平成30年までに防波堤、物揚場、船揚場などの整備、魚礁設置及び用地造成など実施してきており、進捗率は約87%である。平成34年度完了に向け、今後は防波堤や用地内道路の整理を推進する予定である。			
4. 関連事業の進捗状況			
本事業の造成地内には、漁村総合整備事業（漁業集落環境整備事業）により污水处理場施設が整備され、平成22年度に事業が完了している。			

5. 地元（受益者、地方公共団体等）の意向	
	漁業従事者の高齢化が進む中、関係者は地域の主要産業である水産業に対して、安心・安全な就労環境の整備や漁獲物・生産物の安定生産、単価の向上を強く望んでいる。このような中、本事業は地域の水産業の発展に向け必要不可欠な整備と認識されており、地域住民の期待は大きい。
6. 事業コスト縮減等の可能性	
	・ 構造物については設計時からコスト縮減を図り、断面・工法を決定している。 ・ 特に、残事業の防波堤（当初計画L=100m）については、構造と係留施設利用計画の見直し等により、防波堤の延長を短縮し、事業費の削減を図る計画である。
7. 代替案の実現可能性	
	本事業は当該漁港において効率的かつ安全に漁業活動を行うための施設整備であり、離島という立地特性もあり、他の施設により同様の効果を得ることはできない。

Ⅲ 総合評価

当該漁港は県下有数の漁獲高を誇り、県東部地域の漁業活動の拠点として重要な役割を担っているものの、地域では係留施設や漁港施設用地の不足などにより、非効率な漁業活動を余儀なくされ、水産物の生産性も低迷している状況である。このような中、本事業は、地域が抱える課題を解決し、漁業関係者への要望に対応するために防波堤、物揚場や漁港施設用地等の整備を行うものであり、事業の進捗率も87%と推移している。

残る事業においても、港内静穏度を確保するための防波堤整備など、効率的かつ安全に漁業活動を図るうえで必要不可欠な事業であり、地元も強い関心を持っており、継続的な推進が望まれているところである。

また、本事業にかかる費用便益比は1.0を超えており、経済効果も確認されている。

以上より、本事業の必要性および経済性は高いと認められることから、事業を継続する必要がある。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	広島県	地区名	走島
事業名	水産生産基盤整備事業	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

便益の 評価項目 及び 便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	4, 957, 142	千円
		②漁獲機会の増大効果		千円
		③漁獲可能資源の維持・培養効果	22, 566	千円
		④漁獲物付加価値化の効果	351, 732	千円
	漁業就労環境の向上	⑤漁業就業者の労働環境改善効果	384, 650	千円
	生活環境の向上	⑥生活環境の改善効果	138, 210	千円
	地域産業の活性化	⑦漁業外産業への効果	3, 381, 508	千円
	非常時・緊急時の対処	⑧生命・財産保全・防御効果		千円
		⑨避難・救助・災害対策効果		千円
	自然保全・文化の継承	⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
	その他	⑬施設利用者の利便性向上効果		千円
⑭その他		165, 663	千円	
計（総便益額）		B	9, 401, 470	千円
総費用額（現在価値化）		C	8, 528, 971	千円
費用便益比		B／C	1. 10	

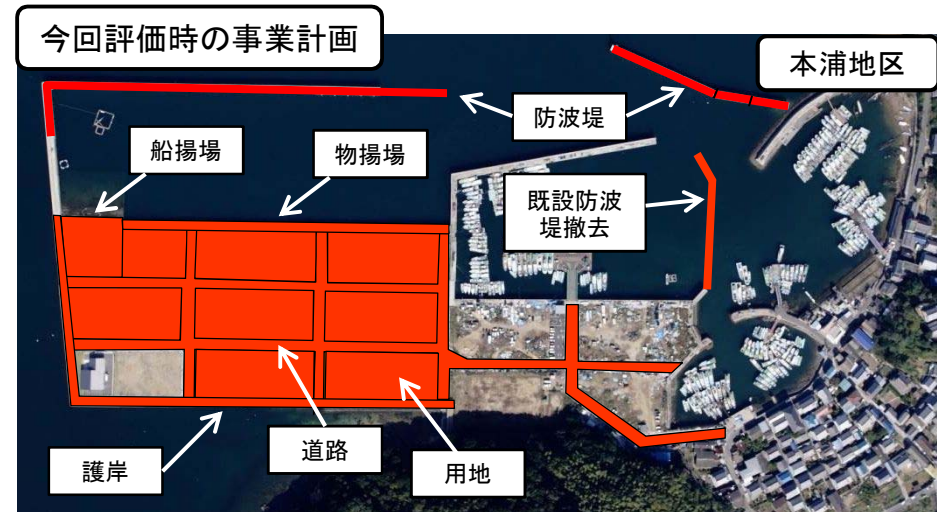
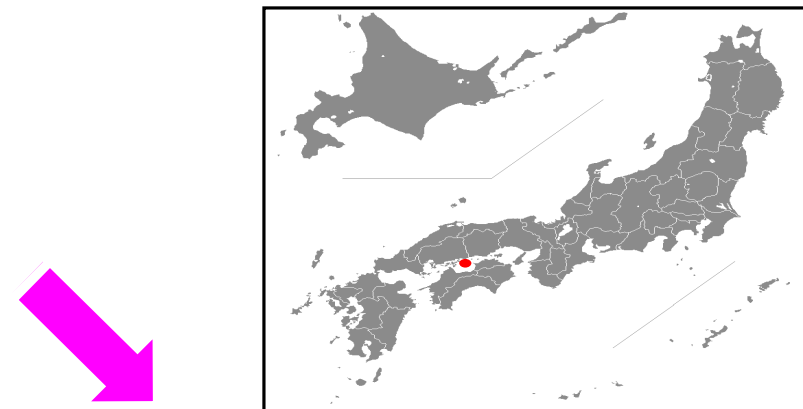
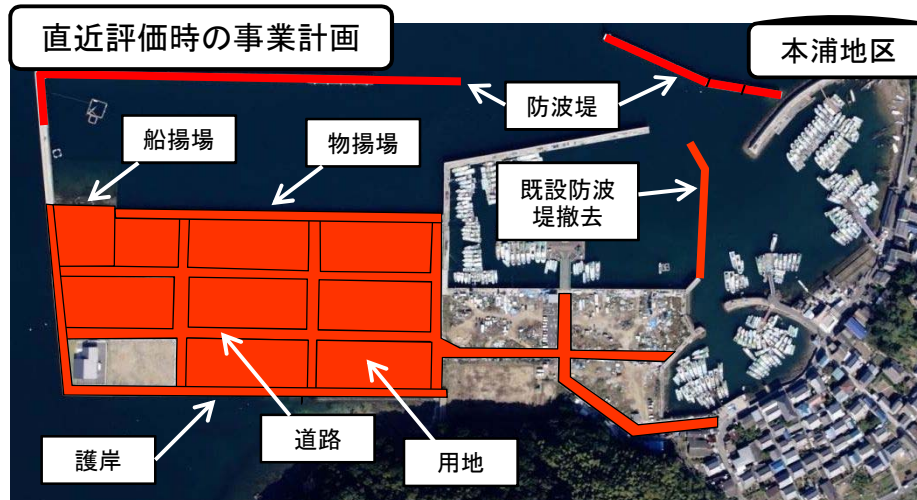
※端数処理の都合により、計と内訳が一致しない場合がある。

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

- ・水産加工場と民家の分離による生活環境の改善
- ・フェリー桟橋整備による車両乗り入れ等に伴う生活機能、交通機能の向上
- ・係留施設の用途別整備による港内航行時の危険解消（漁船・定期船）
- ・給油施設用地の整備に伴う安全性の向上（民家との保安距離確保）
- ・加工場整備による直接販売等の実施に伴う観光客数増加がもたらす地域振興への貢献効果
- ・「漁業外産業への効果」による経済波及効果（雇用者所得の消費転換効果）

水産生産基盤整備事業 走島地区 事業概要図

[整理番号14]



事業主体: 広島県

主要工事計画

本浦地区: 防波堤513m, 防波堤(改良)30m, 護岸414m,
既設防波堤撤去103m, 物揚場247m, 船揚場40m,
道路1,270m, 用地35,000m²

事業費: 6,193百万円

事業期間: 平成14年度～平成21年度

(今回評価時)

主要工事計画

本浦地区: 防波堤503m, 防波堤(改良)30m, 護岸414m,
既設防波堤撤去103m, 物揚場247m, 船揚場40m,
道路960m, 用地35,000m²

浦友地区: 防波堤105m, 浮棧橋1基

その他 : 魚礁設置1,444.8空m³

事業費: 4,815百万円

事業期間: 平成14年度～平成34年度

走島地区 水産生産基盤整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（平成29年4月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（平成30年5月改訂 水産庁）等に基づき算定

- (1)事業目的：1. 水産資源の持続的利用と良質な水産物を安全で効率的に供給する体制の整備
当該漁港は県下有数の漁獲高を誇り、県東部地域の漁業活動の拠点として重要である。利用漁船隻数は386隻（平成28年港勢）と県下上位であるにもかかわらず、係船岸充足率は30%と低く狭い泊地内に漁船が輻湊しているため、準備及び陸揚作業が非効率になっている。また、港口付近の航路の静穏が確保されていない状況で漁船の航行安全性が懸念されている。よって、外郭施設、係留施設を整備して作業の効率化及び安全性を図る必要がある。さらには、水産加工場が住宅地に混在しているため、新たな加工場用地を確保して生活環境の改善を図るとともに、水産加工設備の近代化を図る必要がある。また、定置網が盛んに行われるなどマダイ等地先魚種の漁獲も多かったが、近年は漁場環境の悪化等から漁獲量は減少しており、漁業経営を圧迫している。このため、マダイ、メバル、カサゴ等のい集を図り、刺し網を主とした漁業経営の安定を図るため、漁場として当地区漁業者の利用が見込まれる福山市内海町地先に魚礁を設置する。
2. 年々島民の人口が減少し、また、高齢化が進む中、新たな産業として陸上養殖を行うことにより、生産量の増加及び新規雇用の創出を進め、漁村の活力の向上を図る。
- (2)主要工事計画：西北防波堤L=340m、西物揚場L=247m、西用地A=35,00m²、漁場施設（魚礁）V=1,444.8空m³ ほか
- (3)事業費：4,815百万円
- (4)工期：平成14年度～平成34年度

2. 総費用便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

「水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン」（平成29年4月改訂 水産庁）及び同「参考資料」（平成30年5月改訂 水産庁）等に基づき算定

区分	算定式	数値
総費用（現在価値化）	①	8,528,971（千円）
総便益額（現在価値化）	②	9,401,470（千円）
総費用総便益比	②÷①	1.10

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費（千円）
西防波堤（本浦）	L= 43.0m	295,452
西北防波堤（本浦）	L= 340.0m	1,835,680
中北防波堤（本浦）	L= 120.0m	277,830
中北防波堤 改良（本浦）	L= 30.0m	398
西護岸（本浦）	L= 144.0m	70,217
南護岸（本浦）	L= 270.0m	595,189
新防波堤（浦友）	L= 30.0m	126,734
一文字防波堤（浦友）	L= 45.0m	125,472
沖一文字防波堤（浦友）	L= 30.0m	177,811
既設防波堤撤去（本浦）	L= 103.0m	25,506
西物揚場（本浦）	L= 247.0m	381,966
船揚場（本浦）	L= 40.0m	185,688
浮棧橋（浦友）	N= 1基	74,659
西用地（本浦）	A= 35,000.0m ²	499,402
西道路（本浦）	L= 960.0m	121,045
漁場施設（魚礁）	V= 1,444.8空m ³	22,320
計		4,815,369
維持管理費等		199,350
総費用（消費税込）		5,014,719
内、消費税額		269,016
総費用（消費税抜）		4,745,703
現在価値化後の総費用		8,528,971

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		187,706	①静穏度の向上に伴う漁船耐用年数の延長（本浦） ②静穏度の向上に伴う漁船耐用年数の延長（浦友） ③防波堤整備による荒天時避難移動時間削減（浦友） ④防波堤整備による出漁日数の増加（浦友） ⑤係留施設の拡充整備に伴う陸揚・準備作業経費の削減（本浦） ⑥係留施設の拡充整備に伴う陸揚・準備作業経費の削減（浦友） ⑦係留施設の拡充整備に伴う多層係留回避による係留作業時間の削減（本浦） ⑧船揚場整備による経費の削減（本浦） ⑨船揚場整備による小修理費用の削減（本浦） ⑩野積場及び臨港道路整備による作業時間削減（本浦） ⑪漁具干場用地整備に伴う漁網の修理作業等の時間の削減（本浦） ⑫防波堤整備による荒天時見回りの点検作業時間の短縮（本浦） ⑬防波堤整備による荒天時見回りの点検作業時間の短縮（浦友） ⑭のり加工場の機能向上による生産コストの削減 ⑮いわし加工場の機能向上による生産コストの削減 ⑯漁礁施設による航行時間の短縮
漁獲可能資源の維持・培養効果		815	①魚礁施設による生産量の増加
漁獲物付加価値化の効果		23,374	①加工場（のり）の移転新設による価格向上 ②加工場（いわし）の移転新設による価格向上
漁業就業者の労働環境改善効果		21,417	①係留施設の整備に伴う陸揚・準備作業の安全性の向上（浦友） ②係留施設の整備に伴う陸揚・準備作業の安全性の向上（本浦） ③加工場（のり）の移転新設による作業の安全性の向上 ④加工場（いわし）の移転新設による作業の安全性の向上 ⑤漁具干場用地の整備に伴う漁網の修理作業等の安全性・快適性の向上（本浦）
生活環境の改善効果		11,987	①定期船の入出港における待ち時間の削減効果
漁業外産業への効果		224,554	①陸上養殖業（のり）の新規進出に伴う生産量の増加 ②陸上養殖業（のり）の新規進出による新たな雇用の創出効果 ③加工業における燃料調達のコスト削減 ④出荷過程における流通業に対する生産量の増加
その他の効果		14,368	①公共サービスの費用削減による効果
計		484,221	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価 期間	年 度	割引率	デフ レータ	費用（千円）				便益（千円）									
				事業費 (維持管理 費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理 費含む) ①×②×③	水産物生 産コスト の削減効 果	漁獲可能 資源の維 持培養効 果	漁獲物付 加価値化 の効果	漁業就業 者の労働 環境改善 効果	生活環境 の改善効 果	漁業外産 業への効 果	その他の 効果	計	現在価値 (千円) ①×④		
																③	
-16	14	1.873	1.197	799,997	761,900	1,708,165	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-15	15	1.801	1.222	530,083	504,841	1,111,065	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
-14	16	1.732	1.224	437,673	416,831	883,668	42,837	0	0	0	0	0	0	42,837	74,194		
-13	17	1.665	1.223	513,884	489,413	996,589	48,826	0	0	940	0	0	0	49,766	82,860		
-12	18	1.601	1.199	265,457	252,816	485,305	48,826	0	0	940	0	0	0	49,766	79,675		
-11	19	1.539	1.210	407,193	387,803	722,163	49,197	815	0	940	0	582	0	51,534	79,311		
-10	20	1.480	1.207	604,711	575,915	1,028,792	84,872	815	0	940	0	582	0	87,209	129,069		
-9	21	1.423	1.133	294,677	280,642	452,468	84,872	815	0	940	0	582	0	87,209	124,098		
-8	22	1.369	1.089	337,101	321,048	478,632	84,872	815	0	940	0	582	0	87,209	119,389		
-7	23	1.316	1.130	117,630	112,028	166,595	88,072	815	0	940	0	582	0	90,409	118,978		
-6	24	1.265	1.090	2,100	2,000	2,758	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	147,706		
-5	25	1.217	1.094	2,100	2,000	2,663	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	142,102		
-4	26	1.170	1.047	2,160	2,000	2,450	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	136,614		
-3	27	1.125	1.029	2,160	2,000	2,315	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	131,360		
-2	28	1.082	1.026	2,160	2,000	2,220	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	126,339		
-1	29	1.040	1.000	2,160	2,000	2,080	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	121,435		
0	30	1.000	1.000	2,160	2,000	2,000	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	116,764		
1	31	0.962	1.000	2,200	2,000	1,924	88,072	815	0	940	11,987	582	14,368	116,764	112,327		
2	32	0.925	1.000	154,977	140,888	130,321	91,807	815	0	1,915	11,987	582	14,368	121,474	112,363		
3	33	0.889	1.000	154,977	140,888	125,249	99,534	815	229	6,768	11,987	4,394	14,368	138,095	122,766		
4	34	0.855	1.000	214,159	194,690	166,460	99,534	815	229	6,768	11,987	4,394	14,368	138,095	118,071		
5	35	0.822	1.000	3,300	3,000	2,466	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	376,366		
6	36	0.790	1.000	3,300	3,000	2,370	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	361,714		
7	37	0.760	1.000	3,300	3,000	2,280	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	347,978		
8	38	0.731	1.000	3,300	3,000	2,193	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	334,700		
9	39	0.703	1.000	3,300	3,000	2,109	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	321,880		
10	40	0.676	1.000	3,300	3,000	2,028	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	309,517		
11	41	0.650	1.000	3,300	3,000	1,950	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	297,613		
12	42	0.625	1.000	3,300	3,000	1,875	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	286,166		
13	43	0.601	1.000	3,300	3,000	1,803	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	275,177		
14	44	0.577	1.000	3,300	3,000	1,731	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	264,189		
15	45	0.555	1.000	3,300	3,000	1,665	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	254,116		
16	46	0.534	1.000	3,300	3,000	1,602	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	244,500		
17	47	0.513	1.000	3,300	3,000	1,539	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	234,885		
18	48	0.494	1.000	3,300	3,000	1,482	187,706	815	23,374	21,417	0	224,554	0	457,866	226,186		
19	49	0.475	1.000	3,300	3,000	1,425	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	216,647		
20	50	0.456	1.000	3,300	3,000	1,368	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	207,981		
21	51	0.439	1.000	3,300	3,000	1,317	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	200,227		
22	52	0.422	1.000	3,300	3,000	1,266	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	192,473		
23	53	0.406	1.000	3,300	3,000	1,218	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	185,176		
24	54	0.390	1.000	3,300	3,000	1,170	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	177,878		
25	55	0.375	1.000	3,300	3,000	1,125	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	171,037		
26	56	0.361	1.000	3,300	3,000	1,083	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	164,651		
27	57	0.347	1.000	3,300	3,000	1,041	187,335	0	23,374	21,417	0	223,972	0	456,098	158,266		
28	58	0.333	1.000	3,300	3,000	999	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	150,611		
29	59	0.321	1.000	3,300	3,000	963	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	145,184		
30	60	0.308	1.000	3,300	3,000	924	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	139,304		
31	61	0.296	1.000	3,300	3,000	888	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	133,877		
32	62	0.285	1.000	3,300	3,000	855	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	128,902		
33	63	0.274	1.000	3,300	3,000	822	187,335	0	23,374	21,417	0	220,160	0	452,286	123,926		
34	64	0.264	1.000	3,300	3,000	792	179,608	0	23,145	16,564	0	220,160	0	439,477	116,022		
35	65	0.253	1.000	3,300	3,000	759	179,608	0	23,145	16,564	0	220,160	0	439,477	111,188		
36	66	0.244	1.000	3,300	3,000	732	127,973	0	0	11,038	0	0	0	139,011	33,919		
37	67	0.234	1.000	3,300	3,000	702	121,984	0	0	10,098	0	0	0	132,082	30,907		
38	68	0.225	1.000	3,300	3,000	675	121,984	0	0	10,098	0	0	0	132,082	29,718		
39	69	0.217	1.000	3,300	3,000	651	121,984	0	0	10,098	0	0	0	132,082	28,662		
40	70	0.208	1.000	3,300	3,000	624	86,309	0	0	10,098	0	0	0	96,407	20,053		
41	71	0.200	1.000	3,300	3,000	600	86,309	0	0	10,098	0	0	0	96,407	19,281		
42	72	0.193	1.000	3,300	3,000	579	86,309	0	0	10,098	0	0	0	96,407	18,607		
43	73	0.185	1.000	3,300	3,000	555	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	17,243		
44	74	0.178	1.000	3,300	3,000	534	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	16,591		
45	75	0.171	1.000	3,300	3,000	513	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	15,938		
46	76	0.165	1.000	3,300	3,000	495	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	15,379		
47	77	0.158	1.000	3,300	3,000	474	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	14,727		
48	78	0.152	1.000	3,300	3,000	456	83,109	0	0	10,098	0	0	0	93,207	14,167		
49	79	0.146	1.000														

※デフレータは漁港漁場漁村ポケットブック2018 P.264参照

B/C=1.10

3. 効果額の算定方法

※ヒアリング調査実施状況及び用地整備面積・事業費は文末に添付。

(1) 水産物生産コストの削減効果

1) 静穏度の向上に伴う漁船耐用年数の延長（本浦）

区分		備考
対象隻数（隻）	① 64	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均トン数（t）	② 4.9	③/④
総トン数	③ 1,678.0	H28走漁港港勢調査（休けい）
動力船隻数	④ 340	
漁船耐用年数（年）	⑤ 10.17	⑥+⑦
整備前	⑥ 7.00	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4 FRP船
整備後（耐用年数延長分）	⑦ 3.17	
漁船建造費（千円/t）	⑧ 2,871	⑨×⑩/⑪
漁船建造費（H28）	⑨ 2,946	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4 FRP船
漁港関係デフレータ（H28）	⑩ 1.026	
漁港関係デフレータ（H29）	⑪ 1.000	暦年デフレータ
年間便益額（千円/年）	⑫ 40,096	$(1/⑥-1/⑤) \times ① \times ② \times ⑧$ H16から50年

2) 静穏度の向上に伴う漁船耐用年数の延長（浦友）

区分		備考
対象隻数（隻）	① 55	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均トン数（t）	② 4.9	③/④
総トン数	③ 1,678.0	H28走漁港港勢調査（休けい）
動力船隻数	④ 340	
漁船耐用年数（年）	⑤ 10.17	⑥+⑦
整備前	⑥ 7.00	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4 FRP船
整備後（耐用年数延長分）	⑦ 3.17	
漁船建造費（千円/t）	⑧ 2,871	⑨×⑩/⑪
漁船建造費（H28）	⑨ 2,946	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4 FRP船
漁港関係デフレータ（H28）	⑩ 1.026	
漁港関係デフレータ（H29）	⑪ 1.000	暦年デフレータ
年間便益額（千円/年）	⑫ 34,458	$(1/⑥-1/⑤) \times ① \times ② \times ⑧$ H20から50年

3) 防波堤整備による荒天時避難移動時間の削減（浦友）

区分		備考
移動時間（時間）		
整備前	① 1.0	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後	② 0.0	
避難回数（回/年）	③ 2	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
対象隻数（隻）	④ 55	
労務単価（円/時間）	⑤ 1,506	漁協ヒアリング（H30.8.6）
作業員数（人/日）	⑥ 2	
消費燃料		
重油（L）	⑦ 2	$⑧ \times ⑨ \times (⑩/⑪) / ⑫ \times 1000$
漁船用推進機関の標準燃料消費率（kg/PS・h）	⑧ 0.17	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4
漁船馬力（PS）	⑨ 72	
漁船移動距離（km）	⑩ 3	届出外排出量推計方法の基本的な考え方（H28環境省）
漁船速度（km/h）	⑪ 27.78	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
重油重量（kg/m3）	⑫ 860	漁協ヒアリング（H30.8.6）
重質潤滑油（L） 重油の2%	⑬ 0.04	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4
燃料単価		⑦×2% 水産基盤費用対効果分析ガイドライン
重油（円/L）	⑭ 92	建設物価（2018年）
潤滑油（円/L）	⑮ 255	
便益		
人件費（千円/年）	⑯ 331	$(①-②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$
燃料費（千円/年）	⑰ 43	$(⑦ \times ⑬ + ⑮ \times ⑮) \times ③ \times ④ \times 2$ （往復）/1000
年間便益額（千円/年）	⑱ 374	⑯+⑰ H20から50年

4) 防波堤整備による出漁日数の増加（浦友）

区分		備考
漁獲金額（千円/年）	① 124,625	②×③
走島陸揚金額（千円/年）	② 760,000	H28走漁港港勢調査（陸揚金額）
浦友地区漁船割合（%）	③ 16.398	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
出漁日数（日/年）	④ 163	
1日当り漁獲金額（千円/日）	⑤ 765	①/④
整備後の出漁が可能となる日数（日/年）	⑥ 8	⑦×⑧
低気圧来襲時の影響回避に伴う増加日数（日/回）	⑦ 1	漁協ヒアリング（H30.8.6）
年間低気圧来襲回数（回/年）	⑧ 8	
漁業所得率	⑨ 0.58	
浦友地区休けい漁船数（隻）	⑩ 55	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
浦友地区登録漁船数（隻）	⑪ 61	
年間便益額（千円/年）	⑫ 3,200	⑤×⑥×⑨×（⑩/⑪） H23から50年

5) 係留施設の拡充整備に伴う陸揚・準備作業経費の削減（本浦）

区分		備考
陸揚作業時間（時間）		
整備前	① 1.0	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後	② 0.42	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
準備作業時間（時間）		
整備前	③ 1.0	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後	④ 0.30	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
作業員数（人/日）		
整備前	⑤ 2	
整備後	⑥ 2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
対象隻数（隻）		
陸揚	⑦ 52	⑧/⑨×⑩/⑪
整備延長（m）	⑧ 101.8	
平均必要バース長（m）	⑨ 14.1	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
1日当り施設利用可能時間 陸揚（時間）	⑩ 3.0	
1隻当り施設使用時間 陸揚（時間）	⑪ 0.42	
準備	⑫ 126	⑬/⑭×⑮/⑯
整備延長（m）	⑬ 181.0	
平均必要バース長（m）	⑭ 14.4	
1日当り施設利用可能時間 準備（時間）	⑮ 3.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
1隻当り施設使用時間 準備（時間）	⑯ 0.30	
出漁日数（日/年）	⑰ 163	
労務単価（円/時間）	⑱ 1,506	
便益		
整備前陸揚・準備作業経費（千円/年）	⑲ 87,390	（①×⑦+③×⑫）×⑤×⑰×⑱/1000
整備後陸揚・準備作業経費（千円/年）	⑳ 29,281	（②×⑦+④×⑫）×⑥×⑰×⑱/1000
年間便益額（千円/年）	㉑ 58,109	⑲-㉑ H35から50年

6) 係留施設の拡充整備に伴う陸揚・準備作業経費の削減（浦友）

区分		備考
陸揚作業時間（時間）		
整備前 ①	1.0	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後 ②	0.40	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
準備作業時間（時間）		
整備前 ③	1.0	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後 ④	0.30	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
作業員数（人/日）		
整備前 ⑤	2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後 ⑥	2	
対象隻数（隻）		
陸揚 ⑦	4	⑧/⑨×⑩/⑪
整備延長（m） ⑧	8.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均必要バース長（m） ⑨	14.1	
1日当り施設利用可能時間 陸揚（時間） ⑩	3.0	
1隻当り施設使用時間 陸揚（時間） ⑪	0.40	
準備 ⑫	14	⑬/⑭×⑮/⑯
整備延長（m） ⑬	20.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均必要バース長（m） ⑭	14.3	
1日当り施設利用可能時間 準備（時間） ⑮	3.0	
1隻当り施設使用時間 準備（時間） ⑯	0.30	
出漁日数（日/年） ⑰	163	
労務単価（円/時間） ⑱	1,506	
便益		
整備前陸揚・準備作業経費（千円/年） ⑲	8,837	$(① \times ⑦ + ③ \times ⑫) \times ⑤ \times ⑰ \times ⑱ / 1000$
整備後陸揚・準備作業経費（千円/年） ⑳	2,848	$(② \times ⑦ + ④ \times ⑫) \times ⑥ \times ⑰ \times ⑱ / 1000$
年間便益額（千円/年） ㉑	5,989	⑲-⑳ H17から50年

7) 係留施設の拡充整備に伴う多層係留回避による係留作業時間の削減（本浦）

区分		備考
整備前の係留・解除時間（時間/回） ①	0.40	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後の係留・解除時間（時間/回） ②	0.20	
対象漁船隻数（隻） ③	24	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
出漁日数（日/年） ④	163	
整備前の作業人数（人/隻） ⑤	2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後の作業人数（人/隻） ⑥	1	
労務単価（円/時間） ⑦	1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
年間便益額（千円/年） ⑧	3,535	$(① \times ⑤ - ② \times ⑥) \times ③ \times ④ \times ⑦ / 1000$ H35から50年

8) 船揚場整備による経費の削減（本浦）

区分		備考
移動時間（時間）		
整備前 ①	0.5	⑩/⑪
整備後 ②	0.0	
修理回数（回/年） ③	2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
対象隻数（隻） ④	146	④'×④''
本浦地区漁船隻数（隻） ④'	182	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
修理委託割合（%） ④''	80	漁協ヒアリング（H30.8.6）
労務単価（円/時間） ⑤	1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
作業員数（人/日） ⑥	2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
消費燃料		
重油（L） ⑦	7	⑧×⑨×①/⑫×1000
漁船用推進機関の標準燃料消費率（kg/PS・h） ⑧	0.17	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4
漁船馬力（PS） ⑨	72	届出外排出量推計方法の基本的な考え方（H28環境省）
漁船移動距離（km） ⑩	13	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
漁船速度（km/h） ⑪	27.78	漁協ヒアリング（H30.8.6）
重油重量（kg/m3） ⑫	860	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4
重質潤滑油（L） 重油の2% ⑬	0.14	⑦×2%
燃料単価		
重油（円/L） ⑭	92	漁協ヒアリング（H30.8.6）
潤滑油（円/L） ⑮	255	建設物価（2018年）
便益		
人件費（千円/年） ⑯	440	$(① - ②) \times ③ \times ④ \times ⑤ \times ⑥ / 1000$
燃料費（千円/年） ⑰	198	$(⑦ \times ⑩ + ⑬ \times ⑮) \times ③ \times ④ / 1000$
年間便益額（千円/年） ⑱	638	⑯+⑰ H35から50年

9) 船揚場整備による小修理費用の削減（本浦）

区分		備考
対象隻数（隻）	① 146	(②+③)×④
本浦地区漁船隻数（隻） 5トン未満	② 152	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県） 漁協ヒアリング（H30.8.6）
本浦地区漁船隻数（隻） 5トン以上	③ 30	
修理委託割合（％）	④ 80	
委託小修理代（千円/回） 5トン未満	⑤ 47.00	
委託小修理代（千円/回） 5トン以上	⑥ 117.50	
委託小修理回数（回/年）（整備前）	⑦ 2	
整備後の船揚場での小修理回数（回/年）	⑧ 2	
作業時間（時間/回・日） 5トン未満及び5トン以上	⑨ 2.5	
作業員数（人/回・日） 5トン未満及び5トン以上	⑩ 1.0	
作業日数（日/回） 5トン未満	⑪ 2	
作業日数（日/回） 5トン以上	⑫ 3.5	
労務単価（円/時間）	⑬ 1,506	
費用（千円/年）		走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
整備前	⑭ 17,070	(②×④/100×⑤×⑦+③×④/100×⑥×⑦)
整備後	⑮ 2,464	(②×④/100×⑧×⑨×⑩×⑪×⑬/1000+③×④/100×⑧×⑨×⑩×⑫×⑬/1000)
年間便益額（千円/年）	⑯ 14,606	⑭-⑮ H35から50年

10) 野積場及び臨港道路整備による作業時間削減（本浦）

区分		備考
作業時間（時間）		
整備前	① 17.00	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後	② 9.50	
作業員数（人）	③ 12.5	
対象経営体数（経営体）	④ 56	
作業日数（日/年）	⑤ 2	
労務単価（円/時間）	⑥ 1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
野積場充足率（％）	⑦ 52.46%	
野積場面積の本浦地区の割合（％）	⑧ 30.0%	2工区計画面積629.38㎡／漁港全体8,867.4㎡
年間便益額（千円/年）	⑨ 2,486	(①-②)×③×④×⑤×⑥×⑦×⑧/1000 H35から50年

11) 漁具干場用地の整備に伴う漁網の修理作業等の時間の削減（本浦）

区分		備考
□定置網		
漁船隻数【定置網】（隻）	① 85	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県） 漁協ヒアリング（H30.8.6）
年間作業回数（回/年）	② 2	
整備前の平均作業時間（時間/日）	③ 4.0	
整備後の平均作業時間（時間/日）	④ 2.5	
修理作業日数（日/回）	⑤ 30.0	
整備前の作業人数（人/経営体）	⑥ 3	
整備後の作業人数（人/経営体）	⑦ 3	
□ひき（バッチ）網		
漁船隻数【ひき網】（隻）	⑧ 32	
年間作業回数（回/年）	⑨ 65.0	⑩／⑪
年間出漁日数（日/年）	⑩ 163	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
補修作業サイクル（出漁毎）	⑪ 2.5	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備前の平均作業時間（時間/日）	⑫ 4.0	
整備後の平均作業時間（時間/日）	⑬ 2.5	
修理作業日数（日/回）	⑭ 1.0	
整備前の作業人数（人/経営体）	⑮ 3	
整備後の作業人数（人/経営体）	⑯ 3	
□のり網		
漁船隻数【採介藻】（隻）	⑰ 7	
年間作業回数（回/年）	⑱ 1.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県） 漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備前の平均作業時間（時間/日）	⑲ 4.0	
整備後の平均作業時間（時間/日）	⑳ 2.5	
修理作業日数（日/回）	㉑ 20.0	
整備前の作業人数（人/経営体）	㉒ 3	
整備後の作業人数（人/経営体）	㉓ 3	
労務単価（円/時間）	㉔ 1,506	
漁具保管修理施設用地充足率（％）	㉕ 22.1	
漁具保管修理施設用地面積の本浦地区の割合（％）	㉖ 34.1	2工区計画面積3,021.40㎡／漁港全体8,867.4㎡
年間便益額（千円/年）【定置網】	㉗ 2,603	((①×②×③×⑤×⑥×②⑩/1000)-(①×②×④×⑤×⑦×②⑩/1000)×㉕/100×㉖/100
年間便益額（千円/年）【ひき（バッチ）網】	㉘ 1,061	((⑧×⑨×⑫×⑭×⑮×②⑩/1000)-(⑧×⑨×⑬×⑭×⑯×②⑩/1000)×㉕/100×㉖/100
年間便益額（千円/年）【のり網】	㉙ 71	((⑰×⑱×⑲×㉑×②⑩/1000)-(⑰×⑱×⑳×㉑×②⑩/1000)×㉕/100×㉖/100
年間便益額（千円/年）【合計】	㉚ 3,735	Σ (㉗～㉙) H32から50年

1 2) 防波堤整備による荒天時見回り点検作業時間の短縮（本浦）

区分		備考
年間荒天時見回り日数（日/年）	① 20	②×③+④×⑤
台風来襲時の見回り日数（日/回）	② 2	漁協ヒアリング（H30.8.6） 走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
年間台風来襲回数（回/年）	③ 2	
低気圧来襲時の見回り日数（日/回）	④ 2	
年間低気圧来襲回数（回/年）	⑤ 8	
整備前		
見回り人数（人/回）	⑥ 91	
見回り回数（回/日）	⑦ 2	
見回り時間（時間/回）	⑧ 1.0	
整備後		
見回り人数（人/回）	⑨ 91	
見回り回数（回/日）	⑩ 1	
見回り時間（時間/回）	⑪ 1.0	
労務単価（円/時間）	⑫ 1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
年間便益額（千円/年）	⑬ 2,741	①×(⑥×⑦×⑧-⑨×⑩×⑪)×⑫/1000 H16から50年

1 3) 防波堤整備による荒天時見回り点検作業時間の短縮（浦友）

区分		備考
年間荒天時見回り回数（回/年）	① 20	②×③+④×⑤
台風来襲時の見回り日数（日/回）	② 2	漁協ヒアリング（H30.8.6） 走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
年間台風来襲回数（回/年）	③ 2	
低気圧来襲時の見回り日数（日/回）	④ 2	
年間低気圧来襲回数（回/年）	⑤ 8	
整備前		
見回り人数（人/回）	⑥ 28	
見回り回数（回/日）	⑦ 2	
見回り時間（時間/回）	⑧ 1.0	
整備後		
見回り人数（人/回）	⑨ 28	
見回り回数（回/日）	⑩ 1	
見回り時間（時間/回）	⑪ 1.0	
労務単価（円/時間）	⑫ 1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
年間便益額（千円/年）	⑬ 843	①×(⑥×⑦×⑧-⑨×⑩×⑪)×⑫/1000 H20から50年

1 4) のり加工場の機能向上による生産コストの削減

区分		備考
作業員数（人/日）	① 27.0	加工業者ヒアリング（H30.7.19）
加工場作業期間（日）	② 120.0	
1人あたり作業時間		
整備前（時間/日）	③ 10.0	
整備後（時間/日）	④ 8.0	
時間単価（円/時間・人）	⑤ 2,100	①×②×(③-④)×⑤/1000
のり加工場移転施設による便益額（千円/年）	⑥ 13,608	
用地整備面積（m2）	⑦ 26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積（のり加工）	⑧ 2,969.81	
用地整備に関連する事業費（千円）	⑨ 3,720,023	⑧/⑦×⑨
水産加工場用地（のり加工）に対する整備費（千円）	⑩ 417,854	
加工場整備費（千円）	⑪ 318,000	318百万円×⑬/⑫ 走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
耐用年数	⑫ 31	減価償却資産耐用年数等（建物・RC造）
便益考慮期間	⑬ 31	
水産加工場用地に発生する便益割合（％）	⑭ 56.8	⑩/((⑩+⑪)
年間便益額（千円/年）	⑮ 7,727	⑥×⑭/100 H33から31年

15) いわし加工場の機能向上による生産コストの削減

区分		備考
作業員数 (人/日)	① 27.0	加工業者ヒアリング (H30.7.19)
加工場作業期間 (日)	② 150	
1人あたり作業時間		
整備前 (時間/日)	③ 10.0	
整備後 (時間/日)	④ 8.0	
時間単価 (円/時間・人)	⑤ 1,850	
いわし加工場移転施設による便益額 (千円/年)	⑥ 14,985	①×②×(③-④)×⑤
用地整備面積 (m ²)	⑦ 26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積 (いわし加工)	⑧ 5,943.46	
用地整備に関連する事業費 (千円)	⑨ 3,720,023	
水産加工場用地 (いわし加工) に対する整備費 (千円)	⑩ 836,248	⑧/⑦×⑨
加工場整備費 (千円)	⑪ 588,000	588百万円×⑩/⑪
耐用年数	⑫ 31	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
便益考慮期間	⑬ 31	減価償却資産耐用年数等 (建物・RC造)
水産加工場用地に発生する便益割合 (%)	⑭ 58.7	⑩/(⑩+⑪)
年間便益額 (千円/年)	⑮ 8,798	⑥×⑭/100 H35から31年

16) 漁礁施設による航行時間の短縮

区分		備考
年間操業日数		
刺網など	① 3,162	農林水産統計年報
釣りなど	② 210	
漁場探索時間	③ 0.08	④-⑤
整備前	④ 0.28	漁協ヒアリング (H30.8.6)
整備後	⑤ 0.20	
消費燃料		
重油 (L)	⑥ 1.14	⑦×⑧×③/⑨×1000
漁船馬力 (PS)	⑦ 72	届出外排出量推計方法の基本的な考え方 (H28環境省)
漁船用推進機関の標準燃料消費率 (kg/PS・h)	⑧ 0.17	水産基盤費用対効果分析ガイドライン参考資料 P.4
重油重量 (kg/m ³)	⑨ 860	
重質潤滑油 (L) 重油の2%	⑩ 0.02	⑥×2% 水産基盤費用対効果分析ガイドライン
燃料単価		
重油 (円/L)	⑪ 92	漁協ヒアリング (H30.8.6)
潤滑油 (円/L)	⑫ 255	建設物価 (2018年)
年間便益額 (千円/年) 【刺網など】	⑬ 348	①×((⑥×⑪)+(⑩×⑫))/1000
年間便益額 (千円/年) 【釣りなど】	⑭ 23	②×((⑥×⑪)+(⑩×⑫))/1000
年間便益額 (千円/年) 【合計】	⑮ 371	⑬+⑭ H19から30年

(3) 漁獲可能資源の維持・培養効果

1) 魚礁施設による生産量の増加

区分		備考
生産量		
整備前 (t)	① 141.0	②+③+④+⑤+⑥+⑦
マダイ	② 10.8	魚種別平均漁獲量 H11～H15平均漁獲量
クロダイ	③ 16.2	
スズキ	④ 21.6	
カサゴ	⑤ 2.2	
メバル	⑥ 2.6	
その他	⑦ 87.6	
整備後 (t)	⑧ 145.3	⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭
マダイ	⑨ 32.8	魚種別平均漁獲量 H24～H28平均漁獲量
クロダイ	⑩ 24.6	
スズキ	⑪ 17.7	
カサゴ	⑫ 2.4	
メバル	⑬ 1.1	
その他	⑭ 66.7	
魚種別単価 (円/kg)		
マダイ	⑮ 824	広島中央卸売市場における魚種別単価
クロダイ	⑯ 337	
スズキ	⑰ 653	
カサゴ	⑱ 894	
メバル	⑲ 1,411	
その他	⑳ 721	
増加生産額 (円)	㉑ 1,405	㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗
マダイ	㉒ 18,128	(⑨-②)×⑮
クロダイ	㉓ 2,831	(⑩-③)×⑯
スズキ	㉔ -2,547	(⑪-④)×⑰
カサゴ	㉕ 179	(⑫-⑤)×⑱
メバル	㉖ -2,117	(⑬-⑥)×⑲
その他	㉗ -15,069	(⑭-⑦)×㉘
漁業所得率	㉘ 0.580	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
年間便益額 (千円/年)	㉙ 815	㉑×㉘ H19から30年

(4) 漁獲物付加価値化の効果

1) 加工場 (のり) の移転新設による価格向上

区分		備考
設備未更新業者の平均年間生産枚数(千枚/年)	① 8,756	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
○整備前		
良品 ^{※2}		
良品率(%)	② 23	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
販売価格(円/枚)	③ 7.7	
販売額(千円/年)	④ 15,507	
不良品 ^{※1}		①×1000×②×③/1000
不良品率(%)	⑤ 77	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
販売価格(円/枚)	⑥ 7.5	
販売額(千円/年)	⑦ 50,566	
○整備後		①×1000×⑤×⑥/1000
良品 ^{※2}		
良品率(%)	⑧ 46	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
販売価格(円/枚)	⑨ 7.7	
販売額(千円/年)	⑩ 31,014	
不良品 ^{※1}		①×1000×⑧×⑨/1000
不良品率(%)	⑪ 54	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
販売価格(円/枚)	⑫ 7.5	
販売額(千円/年)	⑬ 35,462	
年間販売額 (設備未更新時) (千円/年)	⑭ 66,073	④+⑦
年間販売額 (設備更新済時) (千円/年)	⑮ 66,476	⑩+⑬
年間便益額(小計) (千円/年)	⑯ 403	⑮-⑭
用地整備面積 (m ²)	⑰ 26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積 (のり加工)	⑱ 2,969.81	
用地整備に関連する事業費 (千円)	⑲ 3,720,023	⑬/⑰×⑱
水産加工場用地 (のり加工) に対する整備費 (千円)	㉑ 417,854	
加工場整備費 (千円)	㉒ 318,000	318百万円×㉓/㉔
耐用年数	㉓ 31	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
便益考慮期間	㉔ 31	減価償却資産耐用年数等 (建物・RC造)
水産加工用地に発生する便益割合 (%)	㉕ 56.8	㉒/(㉑+㉒)
年間便益額 (千円/年)	㉖ 229	㉕×㉒ H33から31年

※1 不良品: 「ちぢみ」「くもり」「異物混入」「重さ不足(軽)」のある加工品

※2 良品: ※1以外の加工品

2) 加工場（いわし）の移転新設による価格向上

区分		備考
価格（円/kg）		
整備前 ①	1,648	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
整備後 ②	2,188	
年間生産量（トン）		
整備前 ③	73.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
整備後 ④	73.0	
年間便益額（小計）（千円/年） ⑤	39,420	$((② \times ④ \times 1000) - (① \times ③ \times 1000)) / 1000$
用地整備面積（m ² ） ⑥	26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積（いわし加工） ⑦	5,943.46	
用地整備に関連する事業費（千円） ⑧	3,720,023	
水産加工場用地（いわし加工）に対する整備費（千円） ⑨	836,248	
加工場整備費（千円） ⑩	588,000	588百万円×⑫/⑪
耐用年数 ⑪	31	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
便益考慮期間 ⑫	31	減価償却資産耐用年数等（建物・RC造）
水産加工用地に発生する便益割合（％） ⑬	58.7	⑨/（⑨+⑩）
年間便益額（千円/年） ⑭	23,145	⑤×⑬ H35から31年

(5) 漁業就業者の労働環境改善効果

1) 係留施設の整備に伴う陸揚・準備作業の安全性の向上（浦友）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.157	労働環境評価チェックシート （水産基盤費用対効果分析ガイドライン 参考資料）
整備後 ②	1.000	
出漁日数（日/年） ③	163	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
陸揚作業短縮時間（時間/日） ④	0.60	
整備前 ④'	1.00	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後 ④''	0.40	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
準備作業短縮時間（時間/日） ⑤	0.70	⑤'-⑤''
整備前 ⑤'	1.00	漁協ヒアリング（H30.8.6）
整備後 ⑤''	0.30	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
対象隻数（隻）		
陸揚 ⑥	4	⑦/⑧×⑨/⑩
整備延長（m） ⑦	8.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均必要バース長（m） ⑧	14.1	
1日当り施設利用可能時間 陸揚（時間） ⑨	3.0	
1隻当り施設使用時間 陸揚（時間） ⑩	0.40	
準備 ⑪	14	⑫/⑬×⑭/⑮
整備延長（m） ⑫	20.0	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
平均必要バース長（m） ⑬	14.3	
1日当り施設利用可能時間 準備（時間） ⑭	3.0	
1隻当り施設使用時間 準備（時間） ⑮	0.30	
作業員数（人/隻） ⑯	2	漁協ヒアリング（H30.8.6）
労務単価（円/時間） ⑰	1,506	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
便益		
陸揚作業の安全性向上の便益額（千円/年） ⑱	185	（①-②）×③×④×⑥×⑩×⑰/1000
準備作業の安全性向上の便益額（千円/年） ⑲	755	（①-②）×③×⑤×⑪×⑮×⑰/1000
年間便益額（千円/年） ⑳	940	⑱+⑲ H17から50年

2) 係留施設の整備に伴う陸揚・準備作業の安全性の向上（本浦）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.157	労働環境評価チェックシート
整備後 ②	1.000	(水産基盤費用対効果分析ガイドライン 参考資料)
出漁日数(日/年) ③	163	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
陸揚作業短縮時間(時間/日) ④	0.58	④'-④''
整備前 ④'	1.00	漁協ヒアリング(H30.8.6)
整備後 ④''	0.42	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
準備作業短縮時間(時間/日) ⑤	0.70	⑤'-⑤''
整備前 ⑤'	1.00	漁協ヒアリング(H30.8.6)
整備後 ⑤''	0.30	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
対象隻数(隻)		
陸揚 ⑥	52	⑦/⑧×⑨/⑩
整備延長(m) ⑦	101.8	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
平均必要バース長(m) ⑧	14.1	
1日当り施設利用可能時間 陸揚(時間) ⑨	3.0	
1隻当り施設使用時間 陸揚(時間) ⑩	0.42	
準備 ⑪	126	⑫/⑬×⑭/⑮
整備延長(m) ⑫	181.0	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
平均必要バース長(m) ⑬	14.4	
1日当り施設利用可能時間 準備(時間) ⑭	3.0	
1隻当り施設使用時間 準備(時間) ⑮	0.30	
作業員数(人/隻) ⑯	2	漁協ヒアリング(H30.8.6)
労務単価(円/時間) ⑰	1,506	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
便益		
陸揚作業の安全性向上の便益額(千円/年) ⑱	2,325	(①-②)×③×④×⑥×⑯×⑰/1000
準備作業の安全性向上の便益額(千円/年) ⑲	6,798	(①-②)×③×⑤×⑪×⑯×⑰/1000
年間便益額(千円/年) ⑳	9,123	⑱+⑲ H35から50年

3) 加工場(のり)の移転新設による作業の安全性の向上

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.157	労働環境評価チェックシート
整備後 ②	1.000	(水産基盤費用対効果分析ガイドライン 参考資料)
作業日数(日/年) ③	120	加工業者ヒアリング(H30.7.19)
作業員数(人/日) ④	27.0	
時間単価(円/時間・人) ⑤	2,100	
作業時間(時間/日) ⑥	8	
加工場による便益額(千円/年) ⑦	8,546	(①-②)×③×④×⑤×⑥/1000
用地整備面積(m ²) ⑧	26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積(のり加工) ⑨	2,969.81	
用地整備に関連する事業費(千円) ⑩	3,720,023	
水産加工場用地(のり加工)に対する整備費(千円) ⑪	417,854	
加工場整備費(千円) ⑫	318,000	319百万円×⑭/⑮
耐用年数 ⑬	31	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
便益考慮期間 ⑭	31	減価償却資産耐用年数等(建物・RC造)
水産加工場用地に発生する便益割合(%) ⑮	56.8	⑪/(⑩+⑫)
年間便益額(千円/年) ⑯	4,853	⑦×⑮/100 H33から31年

4) 加工場(いわし)の移転新設による作業の安全性の向上

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1.157	労働環境評価チェックシート
整備後 ②	1.000	(水産基盤費用対効果分析ガイドライン 参考資料)
作業日数(日/年) ③	150	加工業者ヒアリング(H30.7.19)
作業員数(人/日) ④	27.0	
時間単価(円/時間・人) ⑤	1,850	
作業時間(時間/日) ⑥	8	
加工場による便益額(千円/年) ⑦	9,411	(①-②)×③×④×⑤×⑥/1000
用地整備面積(m ²) ⑧	26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・水産加工場用地面積(いわし加工) ⑨	5,943.46	
用地整備に関連する事業費(千円) ⑩	3,720,023	
水産加工場用地(いわし加工)に対する整備費(千円) ⑪	836,248	
加工場整備費(千円) ⑫	588,000	588百万円×⑭/⑮
耐用年数 ⑬	31	走漁港整備効果検討業務報告書(H30広島県)
便益考慮期間 ⑭	31	減価償却資産耐用年数等(建物・RC造)
水産加工場用地に発生する便益割合(%) ⑮	58.7	⑪/(⑩+⑫)
年間便益額(千円/年) ⑯	5,526	⑦×⑮/100 H35から31年

5) 漁具干場用地の整備に伴う漁網の修理作業等の安全性・快適性の向上（本浦）

区分		備考
作業状況基準値		
整備前 ①	1,157	労働環境評価チェックシート
整備後 ②	1,000	(水産基盤費用対効果分析ガイドライン 参考資料)
労務単価 (円/時間) ③	1,506	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
漁具保管修理施設用地充足率 (%) ④	22.1	
漁具保管修理施設用地面積の本浦地区の割合 (%) ④'	34.1	2 工区計画面積3,021.40㎡/漁港全体8,867.4㎡
□定置網		
漁船隻数【定置網】(隻) ⑤	85	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
年間作業回数 (回/年) ⑥	2	
整備後の平均作業時間 (時間/日) ⑦	2.5	漁協ヒアリング (H30.8.6)
修理作業日数 (日/回) ⑧	30.0	
整備後の作業人数 (人/経営体) ⑨	3	
年間便益額 (定置網) (千円/年) ⑩	680	$(①-②) \times ⑤ \times ⑥ \times ⑦ \times ⑧ \times ⑨ \times ③ / 1000 \times ④ / 100 \times ④' / 100$
□ひき (バッチ) 網		
漁船隻数【ひき網】(隻) ⑪	32	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
年間作業回数 (回/年) ⑫	65.0	⑬/⑭
年間出漁日数 (日/年) ⑬	163	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
補修作業サイクル (出漁毎) ⑭	2.5	
整備後の平均作業時間 (時間/日) ⑮	2.5	漁協ヒアリング (H30.8.6)
修理作業日数 (日/回) ⑯	1.0	
整備後の作業人数 (人/経営体) ⑰	3	
年間便益額 (ひき (バッチ) 網) (千円/年) ⑱	277	$(①-②) \times ⑪ \times ⑫ \times ⑮ \times ⑯ \times ⑰ \times ③ / 1000 \times ④ / 100 \times ④' / 100$
□のり網		
漁船隻数【採介藻】(隻) ⑲	7	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
年間作業回数 (回/年) ⑳	1.0	
整備後の平均作業時間 (時間/日) ㉑	2.5	漁協ヒアリング (H30.8.6)
修理作業日数 (日/回) ㉒	20.0	
整備後の作業人数 (人/経営体) ㉓	3	
年間便益額 (のり網) (千円/年) ㉔	19	$(①-②) \times ⑲ \times ㉑ \times ㉒ \times ㉓ \times ③ / 1000 \times ④ / 100 \times ④' / 100$
□全体		
年間便益額 (千円/年) ㉕	975	⑩+⑱+㉔ H32から50年

(6) 生活環境の改善効果

1) 定期船の出入港における待ち時間の削減効果

区分		備考
年間乗客数 (人) ①	58,299	鞆の浦～走島フェリーの年間乗降客数 (H25年～H29年平均)
待時間短縮時間 (分/便)		
整備前 ②	6	
整備後 ③	0	フェリー業者ヒアリング (H30.7.19)
一般利用者の労務単価 (円/時間) ④	2,210	水産基盤費用対効果分析ガイドライン
待ち時間発生便数 (便/日) ⑤	1	フェリー業者ヒアリング (H30.7.19)
本浦地区用地整備に関連する事業費 (千円) ⑥	4,009,293	
フェリー建造費 (千円) ⑦	300,000	$300,000 \text{千円} \times ⑨ / ⑧$
耐用年数 ⑧	11	減価償却資産耐用年数等 (カーフェリー)
便益考慮期間 ⑨	11	
本浦地区漁港整備により発生する便益割合 (%) ⑩	93.04	$⑥ / ((⑥+⑦))$
年間便益額 (千円/年) ⑪	11,987	$① \times (②-③) / 60 \times ④ \times ⑩ / 100 \times ⑤ / 1000$ H24から11年

(7) 漁業外産業の効果

1) 陸上養殖業 (のり) の新規進出に伴う生産量の増加

区分		備考
水産物生産量 (トン/年) ①	14.0	
販売価格 (千円/kg) ②	30.0	陸上養殖業者ヒアリング (H30.10.24)
年間必要経費率 (%) ③	49	
用地整備面積 (m ²) ④	26,439.31	
・陸上養殖場用地面積 (新規進出) ⑤	8,880.62	用地整備面積・事業費 一覧表
用地整備に関連する事業費 (千円) ⑥	3,720,023	
陸上養殖場用地 (新規進出) に対する整備費 (千円) ⑦	1,249,507	$⑤ / ④ \times ⑥$
陸上養殖場整備費 (千円) ⑧	340,000	$340,000 \text{千円} \times ⑩ / ⑨$
耐用年数 ⑨	31	陸上養殖業者ヒアリング (H30.10.24)
便益考慮期間 ⑩	31	減価償却資産耐用年数等 (建物・金属造)
陸上養殖場用地に発生する便益割合 (%) ⑪	78.61	$⑦ / ((⑦+⑧))$
年間便益額 (千円/年) ⑫	168,382	$(① \times 1000 \times ② \times (1 - (③ / 100))) \times ⑩ / 100$ H35から31年

2) 陸上養殖業（のり）の新規進出による新たな雇用の創出効果

区分		備考
誘致養殖・加工場数（工場）	① 1	陸上養殖業者ヒアリング(H30. 10. 24)
新規地元雇用者数（人/事業者）	② 28	
現行日当（円/日）	③ 0	事業実施前は就業なし
新規雇用日当（円/日）	④ 7,600	陸上養殖業者ヒアリング(H30. 10. 24)
陸上養殖場作業期間（日/年）	⑤ 308	
新規雇用による便益（千円/年）		
整備前	⑥ 0	①×②×③×⑤/1000
整備後	⑦ 65,542	①×②×④×⑤/1000
用地整備による便益（千円/年）	⑧ 65,542	⑦-⑥ H35から50年
用地整備面積（m2）	⑨ 26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
・陸上養殖場用地面積（新規進出）	⑩ 8,880.62	
用地整備に関連する事業費（千円）	⑪ 3,720,023	
陸上養殖場用地（新規進出）に対する整備費（千円）	⑫ 1,249,507	⑩/⑨×⑪
陸上養殖場整備費（千円）	⑬ 340,000	340,000千円×⑬/⑭ 陸上養殖業者ヒアリング(H30. 10. 24)
耐用年数	⑭ 31	減価償却資産耐用年数等（建物・金属造）
便益考慮期間	⑮ 31	
陸上養殖場用地に発生する便益割合（％）	⑯ 79.0	⑫/（⑫+⑬）
年間便益額（千円/年）	⑰ 51,778	⑧×⑯/100 H35から31年

3) 加工業における燃料調達のコスト削減

区分		備考
燃料単価（円/L）		
整備前	① 107.4	②+③+③-8'
輸送費（円/L）	② 10	②-3' × ②-4' / ②-1'
○1回当りの輸送量（L/回（往復））	②-1' 2,000	②-2' × ②-2''
1回当りの輸送量（本/回（往復））	②-2' 10	加工業者ヒアリング（H30. 7. 19）
1本当りの積載量（L/本）	②-2'' 200	
○燃料輸送に係る人数（人/回）	②-3' 1	
○委託料（円/回）	②-4' 20,000	
燃料費（円/L）	③ 0.36	((③-1' × ③-8') + (③-7' × ③-9')) / ②-1'
○消費燃料		
重油（L）	③-1' 7	③-2' × ③-3' × (③-4' / ③-5') / ③-6' × 1000
漁船用推進機関の標準燃料消費率（kg/PS・h）	③-2' 0.17	届出外排出量推計方法の基本的な考え方（H28環境省）
漁船馬力（PS）	③-3' 72	
漁船移動距離（km）	③-4' 13	
整備前	③-4'' 13	走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
整備後	③-4''' 0	
漁船速度（km/h）	③-5' 27.78	
重油重量（kg/m3）	③-6' 860	水産基盤費用対効果分析ガイドライン
重質潤滑油（L） 重油の2％	③-7' 0.14	③-1' × 2％
燃料単価		
重油（L/円）	③-8' 97	広島県漁業協同組合連合会ヒアリング（H30. 10. 9）
潤滑油（L/円）	③-9' 255	建設物価（2018年）
整備後（重油単価（円/L））	④ 99	広島県漁業協同組合連合会ヒアリング（H30. 10. 9）
対象加工場（事業所）		
のり加工業	⑤ 6	加工業者ヒアリング（H30. 7. 19）
いわし加工業	⑥ 12	
年間燃料消費量（kL/年・事業所）		
のり加工業	⑦ 80.0	⑨/1000×②-1' / ⑩
いわし加工業	⑧ 60.0	⑨' / 1000×②-1' / ⑩'
年間操業日数		
のり加工業（日/年・事業所）	⑨ 120	加工業者ヒアリング（H30. 7. 19）
いわし加工業（日/年・事業所）	⑨' 150	
燃料調達頻度	-	
のり加工業（日・事業所）	⑩ 3	加工業者ヒアリング（H30. 7. 19）
いわし加工業（日・事業所）	⑩' 5	
給油施設整備による便益（千円/年）	⑪ 10,032	(①-④) × (⑤×⑦×1000+⑥×⑧×1000) / 1000
用地整備面積（m2）	⑫ 26,439.31	用地整備面積・事業費 一覧表
給油施設用地面積	⑬ 1,005.90	
用地整備に関連する事業費（千円）	⑭ 3,720,023	
給油施設用地に対する整備費（千円）	⑮ 141,531	⑬/⑫×⑭
上屋整備費（千円）	⑯ 231,000	231百万円×⑯/⑰ 走漁港整備効果検討業務報告書（H30広島県）
耐用年数	⑰ 25	減価償却資産耐用年数等（水そう及び油そう）
便益考慮期間	⑱ 25	
給油施設用地に発生する便益割合（％）	⑲ 38.0	⑮/（⑮+⑯）×100
年間便益額（千円/年）	⑳ 3,812	①×⑱/100 H33年から25年

4) 出荷過程における流通業に対する生産量の増加

区分		備考
生産量		
整備前 (t)	① 141.0	②+③+④+⑤+⑥+⑦
マダイ	② 10.8	魚種別平均漁獲量 H11～H15平均漁獲量
クロダイ	③ 16.2	
スズキ	④ 21.6	
カサゴ	⑤ 2.2	
メバル	⑥ 2.6	
その他	⑦ 87.6	
整備後 (t)	⑧ 145.3	⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭
マダイ	⑨ 32.8	魚種別平均漁獲量 H24～H28平均漁獲量
クロダイ	⑩ 24.6	
スズキ	⑪ 17.7	
カサゴ	⑫ 2.4	
メバル	⑬ 1.1	
その他	⑭ 66.7	
魚種別単価 (円/kg)		
マダイ	⑮ 1,648	広島中央卸売市場における魚種別単価
クロダイ	⑯ 674	
スズキ	⑰ 1,306	
カサゴ	⑱ 1,788	
メバル	⑲ 2,822	
その他	⑳ 1,442	
増加出荷額 (円)	㉑ 2,810	㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗
マダイ	㉒ 36,256	(⑨-②)×⑮
クロダイ	㉓ 5,661	(⑩-③)×⑯
スズキ	㉔ -5,093	(⑪-④)×⑰
カサゴ	㉕ 357	(⑫-⑤)×⑱
メバル	㉖ -4,233	(⑬-⑥)×⑲
その他	㉗ -30,138	(⑭-⑦)×㉑
出荷価格 (増加分)	㉘ 1,405	(3) 漁獲可能資源の維持・培養効果 1) 魚礁施設による生産量の増加 参照
流通過程付加価値率	㉙ 0.414	
年間便益額 (千円/年)	㉚ 582	(㉑-㉘)×㉙ H19から30年

(14) その他の効果

1) 公共サービスの費用削減による効果

区分		備考
ゴミ収集		
整備前費用 (千円/年) H22データ	① 17,136	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
漁港関係デフレータ (H22)	② 1.026	暦年デフレータ
漁港関係デフレータ (H29)	③ 1.000	
整備前費用 基準年価格変換 (千円/年)	④ 16,702	①×③/②
整備後費用	⑤ 1,259	⑥×⑦×2 (往復金額) /1000
フェリー代 (円/回) 片道	⑥ 6,170	走漁港整備効果検討業務報告書 (H30広島県)
収集回数 (回/年)	⑦ 102	実績 (週2回)
本浦地区用地整備に関連する事業費 (千円)	⑧ 4,009,293	
フェリー建造費 (千円)	⑨ 300,000	300,000×⑪/⑩
耐用年数	⑩ 11	減価償却資産耐用年数等 (カーフェリー)
便益考慮期間	⑪ 11	
本浦地区漁港整備により発生する便益割合 (%)	⑫ 93.04	⑧/(⑧+⑨)
年間便益額 (千円/年)	⑬ 14,368	(④-⑤)×⑫/100 H24から11年

※注 ヒアリング調査実施状況は以下のとおり。

○漁協ヒアリング (H30. 8. 6)
調査日：平成30年8月6日 調査場所：走島漁業協同組合 調査対象者：走島漁業協同組合職員 調査実施者：広島県職員 調査実施方法：聞き取り調査
○のり加工業者ヒアリング (H30. 7. 19)
調査日：平成30年7月19日 調査場所：のり加工場 調査対象者：のり加工業者 調査実施者：広島県職員 調査実施方法：聞き取り調査
○いわし加工業者ヒアリング (H30. 10. 9)
調査日：平成30年10月9日 調査場所：広島県漁業協同組合連合会 調査対象者：広島県漁業協同組合連合会職員 調査実施者：広島県職員 調査実施方法：聞き取り調査
○フェリー業者ヒアリング (H30. 7. 19)
調査日：平成30年7月19日 調査場所：走島汽船有限会社 調査対象者：走島汽船有限会社職員 調査実施者：広島県職員 調査実施方法：聞き取り調査
○陸上養殖業者（のり）アンケート調査(H30. 10. 24)
調査日：平成30年10月24日 調査対象者：A社・B社 調査実施者：広島県職員 調査実施方法：アンケート調査

※注 用地整備面積・事業費 一覧表

用地名		面積	備考
用地整備面積 (m2)	①	26, 439. 31	Σ (②～⑧)
水産加工場用地	②	17, 793. 89	Σ (②-1～②-3)
・水産加工場用地 (のり加工業)	②-1	2, 969. 81	
・水産加工場用地 (いわし加工業)	②-2	5, 943. 46	
・水産加工場用地 (陸上養殖業 (のり))	②-3	8, 880. 62	
物揚場用地	③	1, 486. 39	
野積場用地	④	629. 38	
給油施設用地	⑤	1, 005. 90	
船揚場用地	⑥	764. 62	
漁具保管修理施設用地	⑦	3, 021. 40	
下水道関係用地	⑧	1, 737. 73	

※道路・駐車場用地を除く

用地名		整備費	備考
用地整備に関連する事業費 (千円)	⑨	3, 720, 023	Σ (⑩～⑰)
西護岸	⑩	66, 872	
南護岸	⑪	566, 846	
西物揚場	⑫	363, 776	
船揚場	⑬	176, 845	
西用地	⑭	475, 620	
西北防波堤	⑮	1, 675, 916	
西防波堤	⑯	281, 382	
西道路	⑰	112, 766	
本浦地区用地整備に関連する事業費 (千円)	⑱	4, 009, 293	Σ (⑲～㉔)
西防波堤	⑲	281, 382	
西北防波堤	⑳	1, 675, 916	
中北防波堤	㉑	264, 600	
中北防波堤 改良	㉒	379	
西護岸	㉓	66, 872	
南護岸	㉔	566, 846	
既設防波堤撤去	㉕	24, 291	
西物揚場	㉖	363, 776	
船揚場	㉗	176, 845	
西用地	㉘	475, 620	
西道路	㉙	112, 766	

労働環境評価チェックシート【保留施設：本浦】

評価指標			ポイント	チェック		評価		根拠(評価の目安)
				整備前	整備後	整備前	整備後	
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3					ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2					直近5年程度での発生がある
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		1		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		0	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3					海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2					転倒、資材の下敷き、落下物の危険性
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	○	1	1	軽い打撲等
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0					
危険性 小計		0~6			2	1		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5					酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等	
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○		3		風雨、波浪の飛沫等	
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1		○		1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5					人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等	
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		3		長時間の同じ姿勢での作業等	
	c. 肉体的負担がある作業	1		○		1		
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0						
評価ポイント 計						8	3	

※Aランクの条件: 評価ポイント計16～13ポイント → 必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件: 評価ポイント計12～ 6ポイント

Cランクの条件: 評価ポイント計 5～ 0ポイント

※各評価指標ともa評価を与える場合には、評価の根拠を明確に示すとともに、必ず評価を裏付ける資料(例:作業状況の写真等)を添付する。

労働環境評価チェックシート【保留施設：浦友】

評価指標			ポイント	チェック		評価		根拠(評価の目安)
				整備前	整備後	整備前	整備後	
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3					ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2					直近5年程度での発生がある
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		1		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		0	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3					海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2					転倒、資材の下敷き、落下物の危険性
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	○	1	1	軽い打撲等
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0					
危険性 小計		0～6			2	1		
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5						酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○			3		風雨、波浪の飛沫等
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1			○		1	
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5						人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○			3		長時間の同じ姿勢での作業等
	c. 肉体的負担がある作業	1			○		1	
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0						
評価ポイント 計						8	3	

※Aランクの条件: 評価ポイント計16～13ポイント → 必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件: 評価ポイント計12～ 6ポイント

Cランクの条件: 評価ポイント計 5～ 0ポイント

※各評価指標ともa評価を与える場合には、評価の根拠を明確に示すとともに、必ず評価を裏付ける資料(例:作業状況の写真等)を添付する。

労働環境評価チェックシート【漁具補修：本浦】

評価指標			ポイント	チェック		評価		根拠(評価の目安)
				整備前	整備後	整備前	整備後	
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3					ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2					直近5年程度での発生がある
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		1		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		0	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3					海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2					転倒、資材の下敷き、落下物の危険性
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	○	1	1	軽い打撲等
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0					
危険性 小計			0～6			2	1	
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5						酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3	○			3		風雨、波浪の飛沫等
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1			○		1	
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5						人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○			3		長時間の同じ姿勢での作業等
	c. 肉体的負担がある作業	1			○		1	
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0						
評価ポイント 計						8	3	

※Aランクの条件: 評価ポイント計16～13ポイント → 必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件: 評価ポイント計12～ 6ポイント

Cランクの条件: 評価ポイント計 5～ 0ポイント

※各評価指標ともa評価を与える場合には、評価の根拠を明確に示すとともに、必ず評価を裏付ける資料(例:作業状況の写真等)を添付する。

労働環境評価チェックシート【のり加工業】

評価指標			ポイント	チェック		評価		根拠(評価の目安)
				整備前	整備後	整備前	整備後	
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3					ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2					直近5年程度での発生がある
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		1		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		0	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3					海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2					転倒、資材の下敷き、落下物の危険性
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	○	1	1	軽い打撲等
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0					
	危険性 小計		0～6			2	1	
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5						酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3						風雨、波浪の飛沫等
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1	○	○	1	1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5						人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		3			長時間の同じ姿勢での作業等
	c. 肉体的負担がある作業	1		○		1		
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0						
評価ポイント 計						6	3	

※Aランクの条件: 評価ポイント計16～13ポイント → 必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件: 評価ポイント計12～ 6ポイント

Cランクの条件: 評価ポイント計 5～ 0ポイント

※各評価指標ともa評価を与える場合には、評価の根拠を明確に示すとともに、必ず評価を裏付ける資料(例:作業状況の写真等)を添付する。

労働環境評価チェックシート【いわし加工業】

評価指標			ポイント	チェック		評価		根拠(評価の目安)
				整備前	整備後	整備前	整備後	
危険性	事故等の発生頻度	a. 作業中の事故や病気等が頻発している	3					ほぼ毎年のように事故や病気が発生
		b. 過去に作業中の事故や病気等が発生したことがある	2					直近5年程度での発生がある
		c. 過去に発生実績は無いが、発生が懸念される	1	○		1		
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0		○		0	
	事故等の内容	a. 生命にかかわる、後遺症が残る等の重大な事故等	3					海中への転落、漁港施設内での交通事故等
		b. 一定期間の通院、入院加療等が必要な事故等	2					転倒、資材の下敷き、落下物の危険性
		c. 通院不要で数日で完治するようなごく軽いケガ	1	○	○	1	1	軽い打撲等
		d. 事故等が発生する危険性は低い	0					
	危険性 小計		0～6			2	1	
作業環境	a. 極めて過酷な作業環境である	5						酷寒、猛暑、風雪、潮位差が大きい等
	b. 風雨等の影響が比較的大きい作業環境である	3						風雨、波浪の飛沫等
	c. 風雨等の影響を受ける場合がある	1	○	○	1	1		
	d. 当該地域における標準的な作業環境である	0						
重労働性	a. 肉体的負担が極めて大きい作業	5						人力での漁船上下架、潮位差の大きい陸揚等
	b. 肉体的負担が比較的大きい作業	3	○		3			長時間の同じ姿勢での作業等
	c. 肉体的負担がある作業	1		○		1		
	d. 通常の作業と同等程度の肉体的負担	0						
評価ポイント 計						6	3	

※Aランクの条件: 評価ポイント計16～13ポイント → 必ず「事故の発生頻度」、「事故等の内容」の両方の指標でポイントが上げられていること。

Bランクの条件: 評価ポイント計12～ 6ポイント

Cランクの条件: 評価ポイント計 5～ 0ポイント

※各評価指標ともa評価を与える場合には、評価の根拠を明確に示すとともに、必ず評価を裏付ける資料(例:作業状況の写真等)を添付する。